



重複する入力作業のムダを排除！ 手間なくスピーディーに 経営資料が得られるITサービス

経理を変える
仕組みを変える
組織を変える

経営サービスセンター
「Net Office System」
(エヌ・オー・エス)

会社にコンピューターシステムを取り入れる第一目的は、「会社の数値を早く正確につかみ、経営判断に活かすこと」である。

データ収集や入力はあるべく省力化し、データの加工・分析、そして次の手を考えることに時間を使いたい。今の社内の状況はどうだろうか。

例えば売上データ。顧客と接している営業担当者が見積書を作り、売上が確定すると売上傳票を発行。その伝票を月末に経理へ回し、経理担当者が販売管理ソフトや会計システムに入力する。

売上が確定してから社内システムに登録されるまでにタイムラグが生じる。さらに、営業担当者は伝票作成のため一度売上情報をパソコンに入力したにもかかわらず、経理担当者も一度入力作業を行わねばならない…。重複作業はまさに時間のムダ。その分を合理化すれば、販売促進や商品

開発に時間や人材を充てられるはずなのに、なぜか「こんなものだ」と見過ごしてしまっている…。

取引が成立した現場こそ データ入力にふさわしい場所

発注や受注が確認できるのは「現場」だから、担当者が直接取引内容を入力し、そのデータを集める仕組みがあれば、ずいぶん省力化できそうだ。

こうした発想で、簡単・低価格な経営データ活用を目指して開発されたのが株式会社経営サービスセンターの「Net Office System」(NOS)である。

本システムは各社員が現場で入力した取引データをインターネット経由でデータセンターに一括保管。経営者(データを活用する人)は、蓄積されたデータをダウンロードし、財務状況や販売状況、原価状況をほぼリアルタイムで見られるというものだ。入力する部分と活用を分け、その仲立ちを担う仕組みだ。

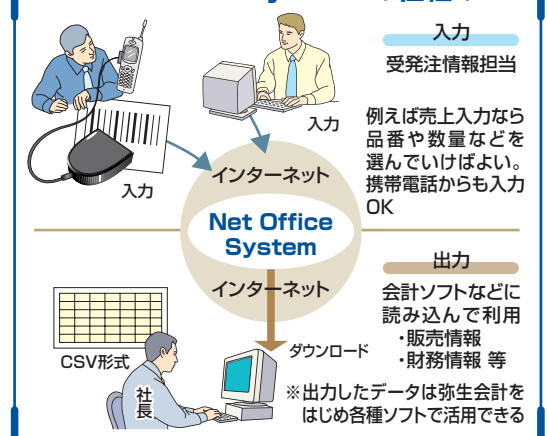
携帯電話からの バーコード入力も

本システムでは

ブラウザーや携帯電話があれば従業員側に特別なソフトウェアを入れる必要はない。利用開始時にNOSのサーバーに取引内容や品番などの入力項目を企業の実情、担当者の業務内容に応じて設定する。また社内でも扱う商品の品目・品番をあらかじめ登録しておくので担当者は画面から項目を選ぶだけ。入力は非常に簡単だ。さらに、携帯電話に接続して使えるバーコードスキヤナからの入力にも対応している。現場での入力作業をよりスムーズにすることもできる。また、企業間等の電子商取引にも対応している。

利用にあたり、社内はインターネットに接続できる環境が整っていればOK。システム利用料金は、IDの初期登録

Net Office System の仕組み



ITコーディネータ等の コンサルティング販売パートナー 同時募集中

お問い合わせ先
株式会社経営サービスセンター
長野県長野市吉田4-11-19
電話：026-241-2576
URL：http://www.keiei-center.co.jp/

録料が3万円、月額利用料金は端末1台当たり5000円よりとなっている。少ない初期投資でリアルタイムの数値データが手に入る本システム。中小企業の現状において何が必要かを追求して生まれた画期的なサービスと言える。